

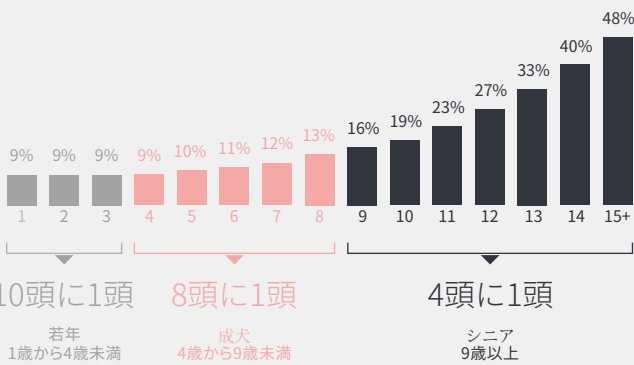
# すべてのペットに メリットがある 患者中心の 予防医療アプローチ

病歴の他、CBC、血液化学検査、尿検査を含む診断検査と、綿密な身体検査を行うことで患者を包括的に評価することができるため、患者固有の正常範囲を確立して、リスクや健康上の変化を明らかにできます。

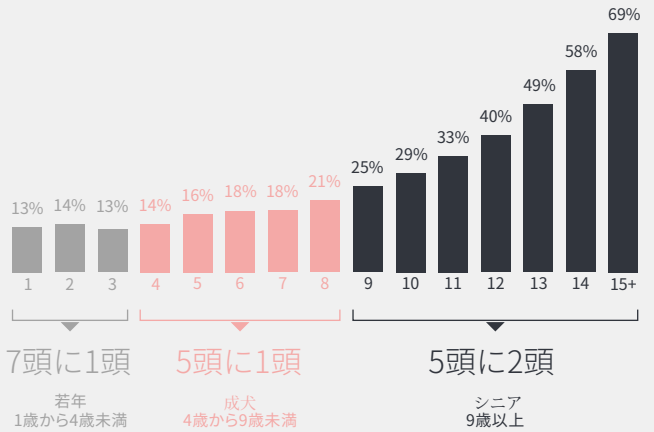


## 予防医療の検査で犬に臨床的意義のある異常\*が見つかる可能性

CBCおよび血液化学検査の所見

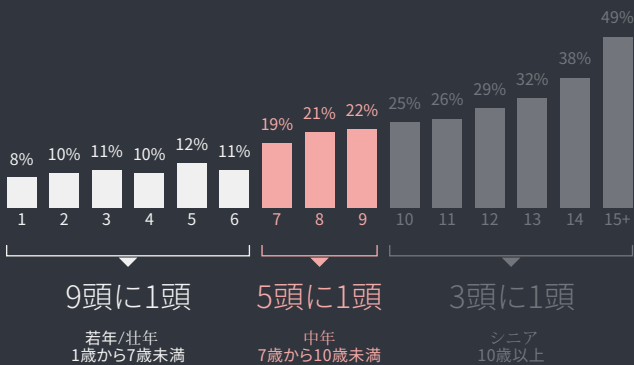


CBC、血液化学検査、尿検査の所見

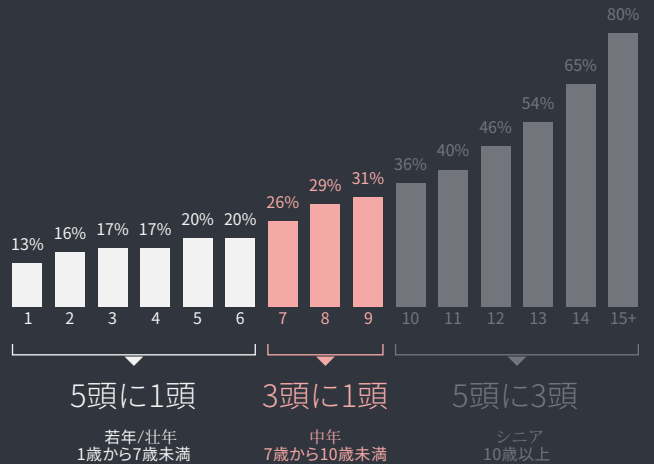


## 予防医療の検査で猫に臨床的意義のある異常\*が見つかる可能性

CBCおよび血液化学検査の所見



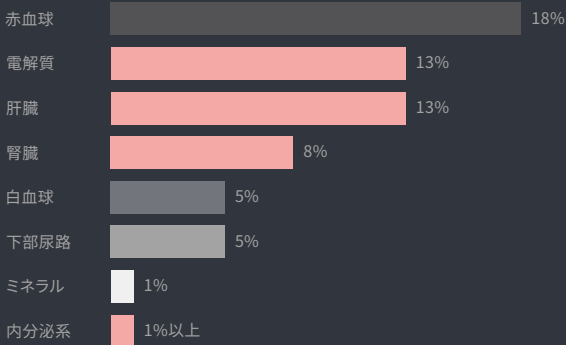
CBC、血液化学検査、尿検査の所見



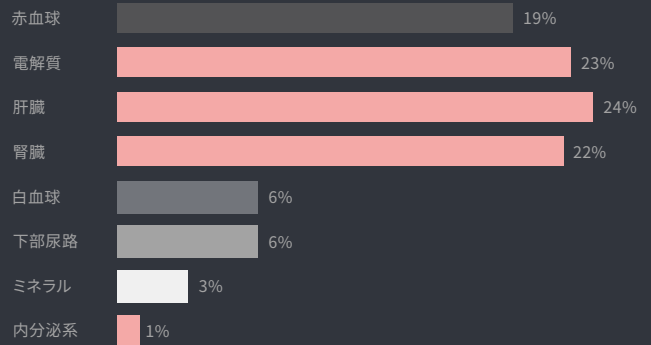
\*臨床的意義のある異常とは、臓器や生理状態の異常を示唆するような検査結果

CBC、血液化学検査、尿検査を含む包括的な健診スクリーニングにより、健康状態を確認し、さまざまな臓器に影響する臨床的意義のある異常\*が明らかになります。

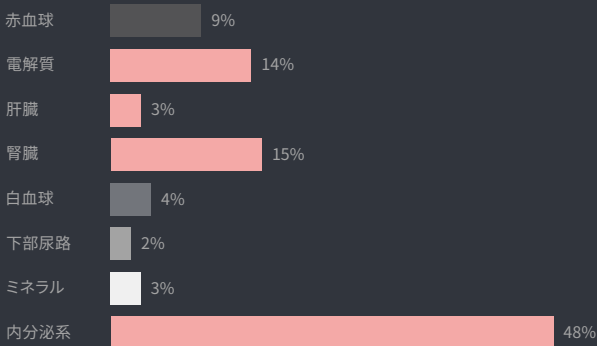
**成犬 4歳から9歳未満**



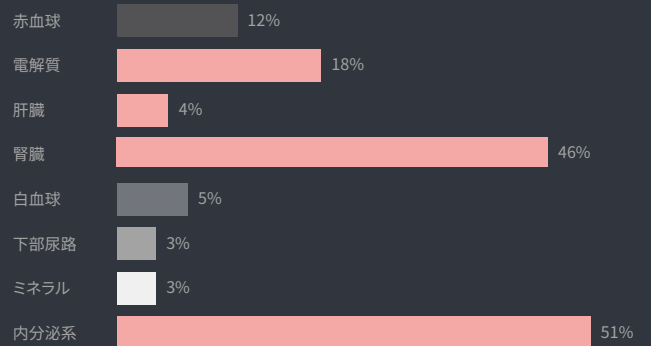
**シニアの犬 9歳以上**



**中年の成猫 7歳から10歳未満**

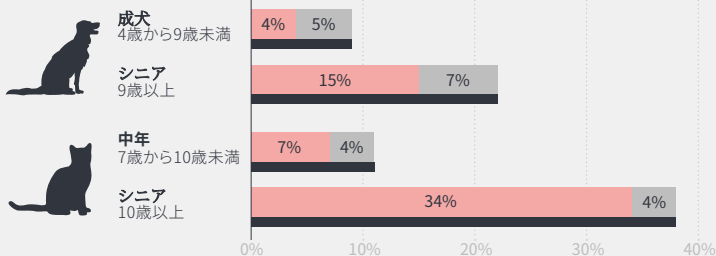


**シニアの猫 10歳以上**



CBC ■ 血液化学検査/CBC ■ 血液化学検査 ■ 血液化学検査/尿検査 ■ 尿検査 ■

尿検査により、腎臓バイオマーカーの数値の上昇を確実に評価できます。



■ 腎臓バイオマーカー (SDMA, クレアチニン, BUN) のいずれかがまたはすべてが上昇  
 ■ 腎臓バイオマーカーの値が高く、尿比重が低い、腎臓病疑い  
 ■ 腎臓バイオマーカーの値が高く、脱水症状があり尿比重も高い

予防医療をペットの生涯にわたり活用することで、患者それぞれに対する理解を深めることができます

患者様の長期的な健康と福祉を守る上で、包括的な検査 (IDEXX SDMAおよび尿検査とCBC、血液化学検査) と病歴、綿密な身体検査を組み合わせることが特に役立ちます。

詳細については、IDEXXの担当営業またはカスタマーサポート (0120-71-4921) にお問合せください。

出典:健康診断で取得された167,593件の犬の健康診断パネル (IDEXX SDMAおよび電解質を含む血液化学検査、IDEXX CBC、尿検査を含む) と54,211件の猫の健康診断パネル (IDEXX SDMAおよび電解質を含む血液化学検査、IDEXX CBC、尿検査、T4 (7歳以上)) の分析に基づくデータ。検査は2021年1月1日~2022年6月1日に北米のIDEXX検査サービスにて実施。アメリカ合衆国メイン州、ウェストブルックのIDEXX Laboratories, Inc.にてデータ保管。  
 Study #014\_Preventive-Care-Findings\_220908090729.